

教授会議事録

日時：平成 18 年 6 月 13 日（火）14 時 00 分から 16 時 56 分

場所：電気通信研究所大会議室

出席者：議長（所長）他教授 25 名、助教授 15 名

議事に先立ち、新任の客員教授から自己紹介があった。

議事録の確認

平成 18 年 5 月 9 日（火）開催の定例教授会議事録について、原案のとおり承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 部局長連絡会議

所長から、5 月 16 日に開催された部局長連絡会議について、下記の報告があった。

- ① 第 2 次国立大学等施設緊急整備 5 年計画について
- ② 旧有朋寮の建物明渡等請求訴訟控訴審に係る判決及び学生側の上告に伴う強制執行停止について
- ③ 平成 18 年度総長裁量経費について
- ④ 青葉山新キャンパス整備に係る県有地取得の進捗状況について
- ⑤ 百周年記念事業について、6 月 22 日にプレ祝賀会をエクセルホテル東急で開催すること及び、広告バスを 1 年間運行すること。
- ⑥ 百周年記念募金について、募金への協力要請があったこと。
- ⑦ 2005 年度利益相反定期自己申告の実施報告について
- ⑧ 平成 19 年度における国立大学法人の教育研究活動の支援に係る留意点について、説明があったこと。なお、議長からは、今後の概算要求時の参考にしてほしいとの付言があった。

(2) キャンパス将来計画委員会

所長から、5 月 26 日に開催されたキャンパス将来計画委員会について、青葉山新キャンパス整備事業に係る県有地取得の進捗状況について説明があり、宮城県と 31 億円前後で売買の仮契約を交わしたこと及び、全体の構想を検討している旨の報告があった。

(3) 研究推進審議会

6 月 1 日に開催された研究推進審議会について、研究不正の対策について検討しており、研究者に不正防止の徹底を促すポスターやリーフレットを配付することとしたので、研究室のスタッフに指導してほしいこと。

(4) 男女共同参画委員会

5 月 31 日に開催された男女共同参画委員会について、下記の報告があった。

- ① 平成 18 年度科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル事業」に応募した「杜の都女性科学者ハードリング支援事業」が採択されたこと。申請時の達成目標は、「2020 年までに女性の講師・助教授・教授が 0 名の部局は 1 名以上にする。」と掲げているが、0 の部局は 3 年以内に講師以上 1 名を任用してほしいこと。
- ② 沢柳賞を 6 月末締切りとして、募集していること。
- ③ 出産や育児休業後に、キャリアを中断しても戻れるシステムがあることを認識してほしいこと。

(5) 東北大学六ヶ所村センター検討委員会（仮称）

5 月 31 日に開催された東北大学六ヶ所村センター検討委員会（仮称）について、六ヶ所村に国際核融合炉計画に関連した炉工学・設計活動が展開されることになり、東北大学として研究・教育活動の一環として積極的に関与していくため、その在り方について検討する委員会であること及び、当面は専門委員会において核融合に係る部分をどのような形で協力できるか検討し、8 月上旬までにまとめ

る方針であるとの報告があった。

(6) 研究教育基盤技術センター運営専門委員会

6月7日に開催された研究教育基盤技術センター運営専門委員会について、昨年度までの高等研究基盤技術センター設置構想委員会を引き継いで、研究教育基盤技術センターが正式に発足したこと及び、現状について下記の報告があった。

- ① 学内の共通的な設備整備のマスタープランを策定しており、18年度は高性能電子顕微鏡が整備されていること。
- ② 中期計画に基づき、大学が蓄積してきた独自の装置や計測技術を学内外に対して提供するために、一般的な需要が見込める共通利用装置で、かつ技術職員若しくは教員がテクニカルサポートできるものについて、再度調査する予定であること。なお、前回の調査では、通研からは評価・分析センターの各装置が報告されていること。
- ③ 技術職員の組織について、調査していること。

(7) 図書館計画 WG 委員会

6月9日に開催された図書館計画 WG 委員会について、新キャンパス及び青葉山地区に係る図書館の在り方について、検討しているとの報告があり、新しい図書館を作ることに反対であるとか、新しい図書館に対する希望があれば申し出てほしいこと。

(8) 図書館商議会

東北大学図書館（室）間におけるキャンパス間資料搬送サービスの試行について、配付資料に基づき説明があった。

(9) 第 65 回国立大学附置研究所・センター長会議総会

5月25・26日に開催された第65回国立大学附置研究所・センター長会議総会について、配付資料に基づき、下記の報告があった。

- ① ポスト「21世紀 COE プログラム」の在り方について
- ② 世界の科学技術をリードする大学づくりを積極的に展開するため、特定の先端的な研究領域に着目して世界トップクラスの研究教育拠点を目指す研究拠点を、30程度形成すること。
- ③ 国立大学法人の各年度終了時における附置研究所及び全国共同利用研究施設の「全国共同利用」に関する取組や機能を確認するための評価を実施すること。この評価の目的は、各組織のシステムの検証・改善で、機能向上のための具体的取組としては、科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会委員が附置研究所等を訪問し意見交換等を行い、各組織のシステム全体を捉えた改善や充実の方策をまとめること。なお、訪問日程等については、未定であること。

2. 運営会議等報告

(1) 評価委員会

第4回分野別外部評価用資料については、外部評価委員に送付するための準備中である旨の報告があり、議長からは、総合評価委員による外部評価委員会開催日については、調整中であるとの付言があった。

(2) 研究企画戦略室

5月31日に開催した研究企画戦略室会議について、下記の報告があった。

- ① 研究拠点の構築等について、検討していること。
- ② 東北大学連携型企業家育成施設について、配付資料により説明があり、現在入居者を募集していること。現段階で応募する場合は、インフラを要求できること及び、施設の借料については自治体から補助を受けられる旨の付言があった。なお、詳細については、HPを参照願いたいこと。

(3) 安全衛生委員会

5月23日に開催した安全衛生委員会について、下記の報告があった。

- ① ゴミ処理について、一般ゴミの保管場所である集積所に、粗大ゴミも投棄されているため集積所が飽和状態であり、学生等研究室内に対し、ゴミ処理方法のモラル向上のために指導を徹底してほ

しいこと。

- ② 安全衛生講習会を 5 月 10 日（水）に開催し、出席者は 185 名（職員 43 名、学生・研究員 142 名）であったこと。欠席者に対する指導は、研究室にお願いしたいこと。また、5 月 12 日（金）に高圧ガス保安講習会を開催し、出席者は 42 名（職員 7 名、学生・研究員 35 名）であったこと。特に、高圧ガス保安講習会の出席者が例年より少なかったため、今後は周知方法に工夫が必要であること。
- ③ 作業環境測定について、5 月半ばに実施され、特に問題なく終了したこと及び、測定者から前回に比べてかなり改善している旨のコメントがあったこと。
- ④ 東北大学薬品管理システムが、全学的に導入予定であること。
このことに関し、配付資料に基づき、システム（IASO）について説明があり、導入に当って、問題点が懸念されることから、安全衛生管理室と相談しながら柔軟に対応したいとの付言があった。
- ⑤ 「国立大学法人東北大学災害対策規程」等が制定されたことから、通研においても「災害対策支部の組織及び担当業務」及び「災害予防及び災害応急対策のための業務要領」を作成する必要があること。簡便でわかりやすく、実効的でポイントを押さえたものを整備する予定であり、安全衛生管理室と事務部で検討すること。
- ⑥ 教員の退職後に、未整理の薬品や高圧ガス等、内容がわからずに処分にかかる場合があるため、退職する数ヶ月前に安全衛生管理室において点検すること。
- ⑦ 通研が管理している排水枡（11 枡）の排水から、ノルマルヘキサン濃度が基準値を大幅に超えているとの連絡があり、原因の特定が必要であるため、共同で使用している片平南地区の関係部局に対し調査を依頼すること。

（4）総務委員会

下記のことについて提案並びに依頼があった。

- ① 平成 18 年度通研公開の実施日について、先月の審議に基づき再検討した結果、10 月 21・22 日に実施したい旨の提案があり、承認した。
- ② 通研公開の公開実験・工作教室については、各研究室からの提案を基に最終案を検討していること及び、パンフレット原稿の作成依頼を近々行うので協力願いたいこと。
- ③ 通研図書室のセキュリティについて

（5）学部教務委員会

5 月 30 日開催の系内学部教務委員会の通研関連事項について、配付資料により報告があった。特に、創造工学研修の必修化について、検討している旨の付言があった。

3. その他

- （1）職員及び学生の受賞について
議長から、配付資料に基づき、職員及び学生の受賞について報告があった。
- （2）受託研究員の受入れについて
議長から、配付資料に基づき、受託研究員の受入れについて報告があった。

II. 協議事項

1. 助手の任用について

議長から、ナノ分子デバイス研究部助手候補者について、配付資料に基づき説明の後提案があり、承認した。

2. 客員研究員の受入れについて

議長から、客員研究員の受入れについて、配付資料に基づき説明があり、承認した。

3. 通研移転にあたってのコンセプト（案）について

現在の検討状況の報告の後、通研移転にあたってのコンセプト（案）について、先月の意見を踏まえ

修正した旨、配付資料に基づき説明があり、審議した結果、文言のうち、コンセプト実現のための具体的方策の 4 行目「との両立」を削除し、承認した。

4. 平成 18 年度予算配分について

平成 18 年度予算配分について、配付資料により詳細な説明があり、審議した結果、承認した。

5. 平成 18 年度通研共同プロジェクト研究経費の配分について

平成 18 年度通研共同プロジェクト研究経費の配分について、配付資料により説明があり、種々検討した結果、承認した。

このことに関連し、議長から、今年度から全国共同利用型附置研究所としての機能評価が行われることから、通研に来所し研究を行った実績を積みたいこと。また、運営協議会に報告するためにも昨年度の実績を調査してほしいとの依頼があった。

なお、A タイプ、B タイプの見直しについても、検討してほしい旨の意見もあった。

6. 平成 18 年度通研公開予算案について

配付資料に基づき、平成 18 年度通研公開予算案について提案があり、承認した。

7. 各種委員会等委員の選出について

議長から、配付資料に基づき各種委員会等委員の選出について、提案があり承認した。

8. その他

(1) 任用予定助教授の任用年月日の変更について

議長から、ブロードバンド工学研究部門 超ブロードバンド工学研究分野 助教授について、4 月教授会で平成 18 年 10 月 1 日に任用することで承認していたが、後期の授業をスムーズに行えるように 1 ヶ月早めて、平成 18 年 9 月 1 日に任用したい旨の説明があり、承認した。

(2) 研究拠点の形成について

世界トップレベルの研究拠点の構築について、配付資料に基づき説明があり、種々議論した結果、研究企画戦略室を中心に若手も加えた WG を結成し、検討することとした。

なお、研究拠点の「テーマ」等について提案がある場合は、6 月 26 日（月）まで、申し出てほしいとの依頼があった。

(3) 「東北大学の教員組織における新制度の導入及び移行に関する方針（案）」について

議長から、配付資料に基づき「東北大学の教員組織における新制度の導入及び移行に関する方針（案）」について、平成 19 年 4 月 1 日施行に向けて、部局からの意見を基に 6 月及び 7 月に意見交換を行い、9 月若しくは 10 月に方針を設定することになっているとの報告があり、意見があったら、所長若しくは矢野評議員に申し出てもらいたい旨の依頼があった。

Ⅲ. その他

1. 遺贈について

議長から、平成 17 年暮れに亡くなった東京のデザイン会社の創始者の遺志により、遺産の一部を半導体等の研究で有名な電気通信研究所に遺贈し、日本の基礎工学の発展のために役立ててほしいという申し出があり、有難くお受けすることとした。現在、受入れの手続きを進めているところであるが、用途については、青葉山新キャンパス移転に絡めながら、名前を残す形で使用したいと考えている旨の報告があった。

2. 平成 17 年度決算会計実施検査について

経理課長から、平成 17 年度決算会計実施検査が 5 月 15 日～19 日に行われ、19 日に科研費の研究室

発注の実情について事情聴取されたこと及び、下記のとおり講評があったことの報告並びに協力に対する謝辞があった。

- ① 有形固定資産の耐用年数の取扱いについて
- ② 内部監査について
- ③ 科学研究費補助金の経理について
- ④ 病院セグメント情報について

3. 松田科学技術政策担当大臣の通研視察について

議長から、7月29日（土）に松田科学技術政策担当大臣の通研視察が予定されている旨の報告及び、協力要請があった。

4. きれいな庭でおいしいビールを飲む会について

きれいな庭でおいしいビールを飲む会を7月中旬に予定しているので、多数参加してほしい旨の依頼があった。

5. 次回の開催について

平成 18 年 7 月 11 日（火）14：00 から開催することとした。